

# 週間感染症情報

2024年22-23週 2024年5月27日より2024年6月9日まで

22週 23週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	3
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	32	17
手足口病	48	51
ヘルパンギーナ	6	8
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	42	54
ノロウイルス(再掲)		1
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	5
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	2
ヘルペス性口内炎		1
アデノウイルス感染症	6	5
RSウイルス感染症	7	4
マイコプラズマ感染症		1
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ		
インフルエンザ A		
インフルエンザ B		
新型コロナウイルス感染症	22	27

2024年22-23週の2週間の報告です。急に暑くなり、外遊びにの後に頭痛・倦怠感・発熱などを訴える熱中症と思われる症例をみかけます。体が暑さに慣れていないこの時期、無理せず早めに涼しい場所で休ませ、水分摂取させてください。

左下のグラフの様に新型コロナウイルス感染症の報告は22例、27例と続いています。全国的に増加傾向です。沖縄では定点報告が20近くで、インフルエンザで言えば注意報レベルです。

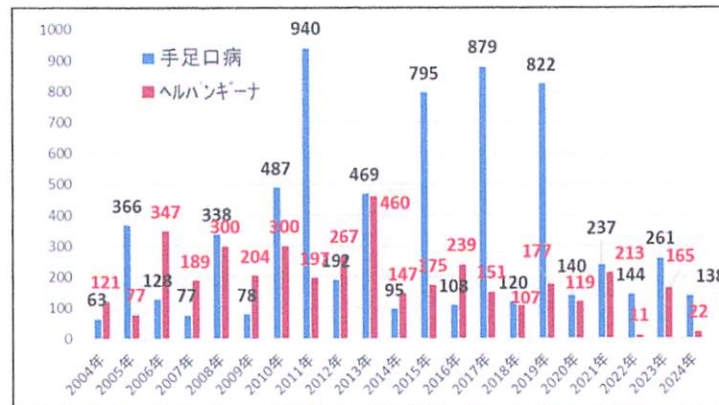
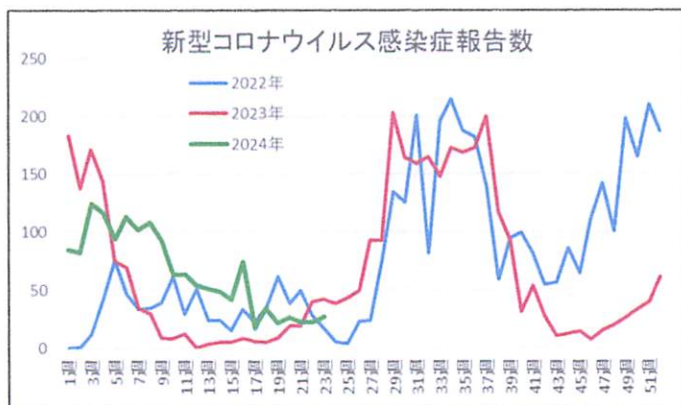
溶連菌感染症の報告は多いです。家族内感染で成人の報告も増えています。

手足口病、ヘルパンギーナなどいわゆる夏かぜの報告が増えてきました。右下のグラフは小児科医の間で報告を取り始めた2004年から21年(2024年は23週まで)のまとめです。手足口病は2-3年ごとに大きな流行を繰り返しています。コロナ以前は「みんなかかって終わり」という状況でした。2020年から大流行が無くなりました。未感染者が増えています。大きな流行になっていくのでしょうか。発熱、食欲低下などがあれば休む必要がありますが、熱がなく食欲があれば登園はできます。感染性胃腸炎は、ノロウイルスと思われる嘔吐を主とする胃腸炎が多いです。

体調不良の場合は休み、ぜひマスクの着用をお願いします。

手洗い・換気に努めて下さい。

医療機関・密な環境・公共交通機関では マスクの着用をお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )